



株式会社 ナックイメージテクノロジー
CREATIVE 制作営業部
2023年11月9日 T23017



アレクサミニ LF SUP 7.3

ソフトウェア・アップグレード・パッケージ SUP 7.3

リリースノート 日本語版

2023年10月17日

和訳・追記

株式会社 ナックイメージテクノロジー
営業本部 制作営業部
〒107-0061
東京都港区北青山 2-11-3
03-3976-7901

目次

A. 概要	2
ALEXA Mini LF SUP 7.3 の変更点の一覧.....	2
カメラ、ビューファインダー、レンズマウントのアップデートに関する注意点.....	2
LBUS アクセサリーのアップデートに関する注意点.....	3
ダウンデートに関する注意点.....	3
Codex Compact Drive 1TB アップデート.....	3
互換性のあるソフトウェアとサンプルフッテージ.....	4
オンラインレジストレーション.....	4
B. 新機能	5
カメラコントロールモニター CCM-1 のサポート.....	5
マルチビューファインダー MVF-2 のタッチ機能.....	5
メディア消去時のワーニングの変更.....	6
オーディオゲイン GUI の改善.....	6
CAP 機能追加とバグフィックス.....	6
WPA-3 クライアントモードのサポート.....	7
LAN Gateway 設定.....	7
ECS 機能改善.....	7
その他.....	8
C. 既知の問題 (ソフトウェア)	9
レンズ.....	9
モニタリング.....	9
再生.....	9
ポスト.....	9
リモートコントロール.....	9
同期.....	10
ユーザビリティ.....	10
アップデート.....	11
D. 既知の問題 (メカニカルアクセサリー)	11
E. アップデート手順	12
ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP)のダウンロード方法.....	12
カメラのアップデート方法.....	12

A. 概要

本文書では、SUP 7.2 の ALEXA Mini LF カメラに対し、SUP 7.3 の ALEXA Mini LF カメラにおける変更点について説明します。Mini LF SUP 7.2 は SUP 7.1.2 のバグフィックス版であり、機能に差はありません。カメラをご利用になる前に本文書および「既知の問題」項、ユーザマニュアルをご一読ください。

詳しい情報は、下記の URL からご覧いただけます。

<https://www.arri.com/en/camera-systems/cameras/alexa-mini-lf>

よくある質問とその回答は、下記の URL からご覧いただけます。

<https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/frequently-asked-questions/alexa-mini-lf-faq>

ALEXA Mini LF SUP 7.3 の変更点の一覧

- カメラコントロールモニター CCM-1 のサポート
- マルチビューファインダー MVF-2 のタッチ機能
- メディア消去時のワーニングの変更
- オーディオゲイン GUI の改善
- CAP 機能追加とバグフィックス
- WPA-3 クライアントモードのサポート
- LAN Gateway 設定
- ECS 機能改善
- その他

すべてのカメラのアップデートを推奨いたします。

カメラ、ビューファインダー、レンズマウントのアップデートに関する注意点

- ALEXA Mini LF SUP 7.3 はすべてのバージョンの Mini LF カメラにインストールできますが、SUP 7.2 からアップデートすることを推奨します（アップデートには最大 20 分程かかります）。カメラに Mini LF SUP 7.2 がインストールされていない場合、7.3 にアップデートする前に 7.2 をインストールしてください。Mini LF SUP 7.2 は、Mini LF SUP ウェブサイトからダウンロードできます。
- 作品の撮影中に新しい SUP をインストールすることは推奨しません。
- MVF-2 および LPL マウントマウントがカメラに接続されていた場合、それらも自動的にアップデートされます。カメラのソフトウェアが MVF-2 やレンズマウントよりも新しい場合、必ず MVF-2 やレンズマウントのアップデートを行ってください。MENU > System > Update で確認できるカッコ内のバージョン情報は相互に一致している必要があります。

	System	Update
Recording	System	Update Camera...
Media	Buttons +	Update LBUS Devices...
Monitoring	Camera A	Update MVF-2... (3.14/3.14)
Look	Network	Update Lens Mount... (1.46/1.46)
System	Update	(component/SUP)
Setup	Reset Ele	

- アップデート中にビューファインダーがオフになり、進行状況が見えなくなる場合がありますが、旧バージョンとは異なり、SDI 出力は行われています。
- アップデート中は電源の供給が途切れず、またビューファインダーケーブルを抜かないようにしてください。アップデート方法の詳細は、“アップデート手順”項をご覧ください。
- ウェブリモート経由でカメラ操作や SUP アップデートを行う際は、誤操作を防ぐため、ブラウザをプライベートまたはシークレットモードで使用してください。

LBUS アクセサリーのアップデートに関する注意点

- 本バージョンのソフトウェアには、LBUS アクセサリーのソフトウェアは含まれていません。cforce mini モータ、cforce Plus モータ、マスターグリップ、オペレータコントロールユニット OCU-1、LCUBE 等の LBUS アクセサリーがアップデート中のカメラに接続されていた場合でも、それらはアップデートされません。
- LBUS アクセサリーをアップデートするには、ARRI ウェブサイトから LBUS デバイス用のアップデートファイルをダウンロードし、USB スティックの ARRI/ECS/にコピーしてカメラに挿入し、LBUS デバイスをカメラに接続した状態で MENU > System > Update > Update LBUS Devices を選択してください。

ダウングレードに関する注意点

ALEXA Mini LF カメラを SUP 7.3 から以前のバージョンにダウングレードすることは可能です。

- 以前のバージョンにダウングレードする場合は、現在のバージョンおよび以前のバージョン両方のライセンスファイル (SUP ファイルに含まれる“mini_lf_fw_update_aes_X.X.X.lic”)を、USB スティックの/ARRI/A-MINI-LF/LICENSES 内に保存しておいてください。
- ALEXA Mini LF SUP 7.2 は、ARRI のウェブサイトからダウンロードできます
- S/N 6849 以降の MVF-2 および S/N 273xxxxx 以降の Compact Drive 2TB は、SUP 7.1.2 以前の ALEXA Mini LF SUP に対応していません。

Codex Compact Drive 1TB アップデート

シリアルナンバー10020001~10022568 の Codex Compact Drive は、カメラ、ドック、リーダ挿入時、ロードに時間がかかるまたはロードができず、カメラステータス“INVALID”が表示されるというファームウェアエラーが発生する恐れがあります。現在、このエラーを修正するためのファームウェアパッチを使用することができます。これ以外のシリアル番号のものは、すでに最新のファームウェアで動作しているため、アップデートの必要はありません。すべての ALEXA Mini LF オーナに Compact Drive を最新のファームウェアにアップデートするよう推奨しています。ALEXA 35 では、対象となる 1TB ドライブ検出およびアップデートが可能ですが、ALEXA Mini LF ではできません。ALEXA 35 をお持ちでない場合、これらのドライブを Codex または ARRI サービスステーションに送付することで、無料でアップデートを行えます。

support@codex.online

<https://www.arri.com/en/technical-service/technical-support/service-locations>

Mini LF SUP 7.3 では Compact Drive のアップデートは行われませんのでご注意ください。SUP 7.1.2 がインストールされている ALEXA Mini LF はアップデートの有無に関わらず Compact Drive に対応しています。詳しい情報は、下記の URL からご覧いただけます。

<https://www.arri.com/resource/blob/209998/eb48d56f7d4b1c49a3ae569b8134f024/nl-codex-compact-drive-data.pdf>

互換性のあるソフトウェアとサンプルフットage

- サードパーティソフトウェアと ALEXA 35 への対応リストは、下記の URL からご覧いただけます。すべてのソフトウェアは必ず最新版を使用してください。

<https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/alexa-35-workflows>

- SUP 7.2 以降の ALEXA Mini LF カメラで収録した ARRIRAW ファイルは、ARRI Reference Tool (ART) または ARRIRAW Converter (ARC) で編集できます。メタデータは、ART または ARRI Meta Extract (AME) で抽出できます。いずれのソフトウェアアプリケーションも無償で配布しています。

なお、すべての ARRI デジタルカメラ (ARRIFLEX D-20/D-21 を除く) に対応した ART に機能が集約されたため、ARC と AME に関しては、今後は開発の予定はありません。ART では、Mini LF で収録した ARRIRAW を、従来の ARRI カラーサイエンス (LogC3/AWG3) だけでなく、ALEXA 35 で収録した映像とも互換性のある、画質の向上した REVEAL カラーサイエンス (LogC4/AWG4) で編集することもできます。ARC や AME を使用する場合、最新のリリースバージョン (ARC 4.4 および AME 4.4) にアップデートしてください。

<https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/tools/arri-reference-tool>

- Codex USB-C コンパクトドライブレídaまたはコンパクトドライブアダプター付き SXR キャプチャードライブドックを利用して、コンパクトドライブからデータを正常に転送するには、macOS X バージョン 10.14.4 以降が必要です。古いバージョンの macOS を使用すると、9.66 GB を超えるファイルをコピーした際にエラーが発生します。
- MXF/Apple ProRes 映像を Apple QuickTime Player で再生するには、macOS X バージョン 10.15 に Apple MXF プラグイン ("Pro Video Formats 2.1" に同梱) をインストールする必要があります。
- ALEXA Mini LF カメラで撮影されたサンプルフットage は下記の URL からダウンロードできます。

<https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/camera-sample-footage>

オンラインレジストレーション

オンラインカスタマーレジストレーションをまだ行っていない場合、下記の URL からお持ちのカメラをご登録してください。今後、ソフトウェアアップデートなどの最新情報を速やかにお送りいたします。また、ARRI ALEXA Mini LF のご購入後 1 ヶ月以内にご登録いただければ、12 ヶ月間の延長保証が無料で受けられます。

<https://alshop.arri.de/register>

B. 新機能

カメラコントロールモニター CCM-1 のサポート

カメラコントロールモニター CCM-1 は、ALEXA 35 や ALEXA Mini LF のすべてのカメラコントロールメニューにアクセスすることができるオンボードモニターです。7"のスクリーンに表示される、高輝度でコントラストの高い HD 映像は、太陽光の下でも角度を問わず高い視認性を提供します。CCM-1 は、MVF-2 と同様にカメラの VF コネクタに接続することで、ARRI の正確で繊細な色を表示することができます。MVF-2 の操作、メニュー、映像などは CCM-1 に置き換えられます。すべての機能は、タッチスクリーンまたはボタンとジョイスティックを使って、片手で操作できます。CCM-1 のユーザボタンは CCM-1 本体またはカメラから設定可能です。

MVF-2 MENU > User Buttons > Monitor User Buttons



SUP 7.3 の ALEXA Mini LF で使用する場合、CCM-1 には SUP 5.5.1 がインストールされている必要があります。

<https://www.arri.com/en/technical-service/firmware/overview-of-all-current-software-update-packages>

マルチビューファインダー MVF-2 のタッチ機能

マルチビューファインダー MVF-2 のフリップアウトモニターをタッチで操作できるようになりました。タッチ機能はデフォルトでオンになっており、MENU > System > Buttons + Display から変更できます。

この機能追加に従い、メニューの一部に変更が行われています（詳細は後述）。

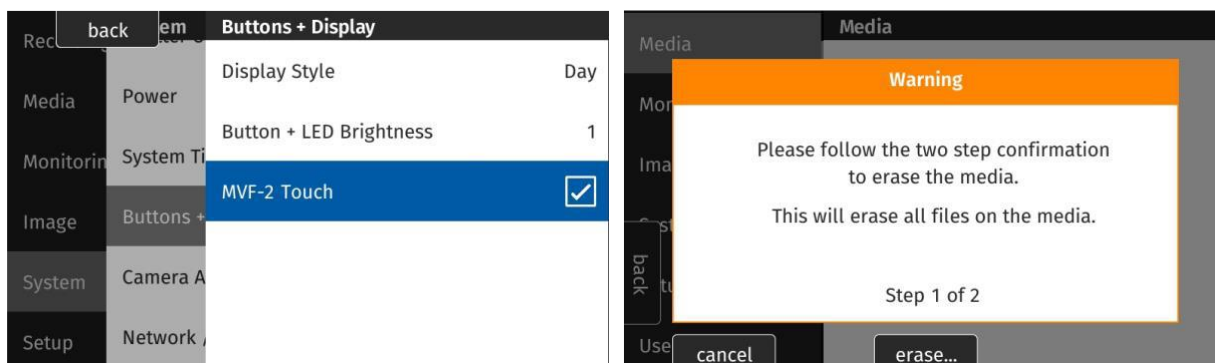
画面を左右フリックすることでライブビューとメニュースクリーンの入れ替えが可能です。

また、MVF-2 のロックスイッチでタッチスクリーンもロックされるようになりました。

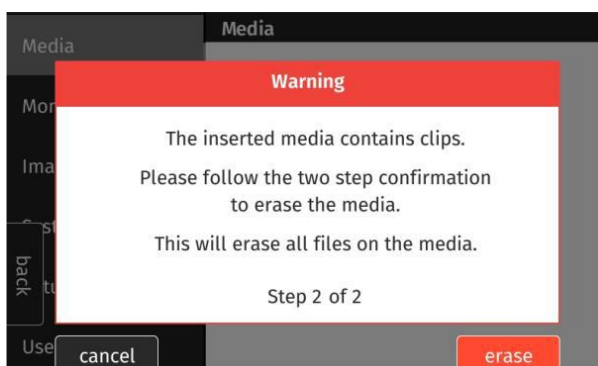


メディア消去時のワーニングの変更

MVF-2 MENU > Media > Erase Media



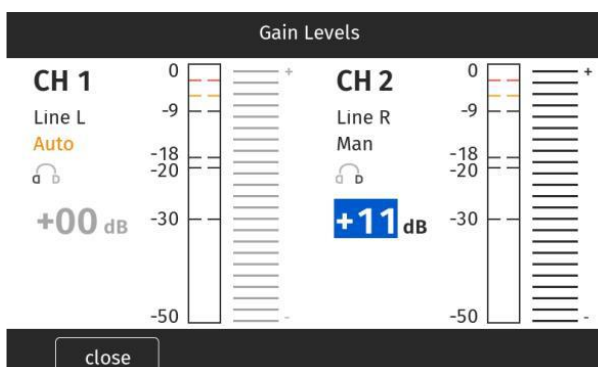
MVF-2 のフリップアウトモニターに表示される、メディア消去時のワーニングが変更されました。消去しようとしているメディアにクリップが保存されている場合は背景が赤、保存されていない場合はオレンジで表示されます。また、誤動作による消去を防ぐため、消去のステップが2段階になりました。



オーディオゲイン GUI の改善

MVF-2 MENU > Recording > Audio Recording > Gain Levels

オーディオゲイン画面が変更され、現在の設定、チャンネルやモニタリングの状態が一括で表示されるようになりました。ゲインレベルは、MVF-2 のクリックホイールまたはスクロールバーをドラッグにより操作できます。



CAP 機能追加とバグフィックス

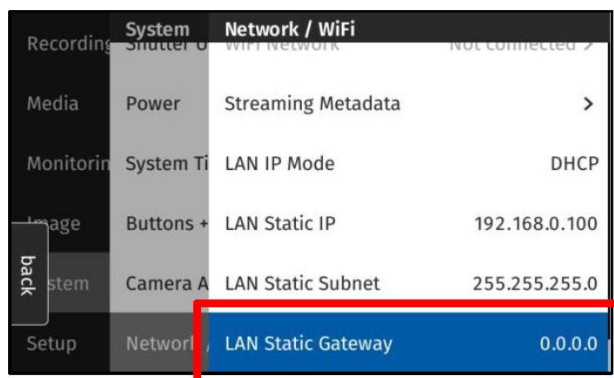
ALEXA Mini LF SUP 7.3 では、カメラアクセスプロトコルが CAP バージョン 1.10 にアップデートされ、バグフィックスとコマンドの追加が行われました。これにより、Camera Companion App から新機能を利用できるほか、サードパーティ製品経由での運用も可能になりました。

WPA-3 クライアントモードのサポート

WPA-3 セキュリティ規格に準拠した WiFi に接続できるようになりました。デフォルト設定では、パスワードの誤りによる接続ミスに対してワーニングが発生しないためご注意ください。

LAN Gateway 設定

MENU > System > Network/WiFi > LAN Static Gateway



バーチャルプロダクションなど特定のセットアップでは、ネットワークにスタティックゲートウェイを設定する必要があります。デフォルトのスタティックゲートウェイは、パケットの宛先に他のルートが一致しない場合に、ネットワークパケットを転送するルータです。ローカルネットワークにおけるデフォルトゲートウェイは、インターネットに 1 ホップ近いホストになります。ゲートウェイの IPv4 アドレスは、192.168.0.1 など、サブネットの最初のアドレスになります。工場出荷時のデフォルトでは、ゲートウェイは 0.0.0.0 に設定されています。

ECS 機能改善

CAM (7p) - LBUS (4p)のサポート

ECS の CAM (7p) - LBUS (4p)接続に完全に対応し、ALEXA 35 と同様に、ECS コントローラ (RIA-1 や ZMU-4 など) の CAM ポートを、カメラの LPL マウントの LBUS ポートに接続できるようになります。このインタフェースでは、カメラ制御コマンドとレンズメタデータが転送されるため、CAM (7p) - EXT (6p)接続よりも高い汎用性があります。引き続き EXT (6p)接続を利用することもできますが、推奨されていません。

注：無線ホストモードの cforce mini RF は、次回のファームウェアアップデートで CAM (7p) - LBUS (4p)接続に対応する予定です。SUP 2.0.3 以前のファームウェアを使用する場合、CAM (7p) - EXT (6p)接続を利用する必要があります。

Calibrate All でのモータキャリブレーション

ECS ハンドユニットで *Calibrate All* コマンドを実行すると、ALEXA Mini LF に接続されているすべての FIZ モータがキャリブレーションされます (以前は、コマンドを実行するコントローラに接続されているモータのみがキャリブレーションされていました)。ここでは、別のコントローラにアサインされているモータや、完全にアサインされていないモータ、エンコーダモードのモータが含まれます。AUX モータは *Calibrate All* コマンドを受け入れないため、手動でキャリブレーションをとる必要があります。この機能は、すでにラジオインタフェースアダプター RIA-1 や ALEXA 35 に搭載されており、今後、すべての ARRI モータコントローラとカメラも対応する予定です。

例：ALEXA Mini LF のズームレンズに、LPL マウントの LBUS コネクタに接続された 3 台の cforce mini モータが装着されている。フォーカスモータを Hi-5、ズームモータを ZMU-4 で操作し、アイリスモータがエンコーダモードになっているとする。以前は、Hi-5 で *Calibrate All* コマンドを実行しても、直接制御されているフォーカスモータのみがキャ

リブレーションされていたが、SUP 7.3 では全てのモータに適用される。

その他

このソフトウェアバージョンでは、いくつかのバグフィックスとカメラの全体的な安定性の向上が行われています。

このソフトウェアバージョンでは、メニュー構造が変更され、ALEXA 35 と一致するようにメニュー項目の名称変更が行われています。

収録中にキャリブレーション要求をスキップできるようになりました。

軽量コーデックでのメディア残容量が修正されました。

距離データがない場合、フォーカス距離オーバーレイが非表示になりました。

C. 既知の問題 (ソフトウェア)

レンズ

- **ALURA 1.4x/2.0x エクステンダーが認識されない**

ALURA 1.4x/2.0x エクステンダーがカメラに認識されていないため、メニュー、SDI オーバーレイ、WCU-4 に表示されるレンズ情報には、エクステンダーの影響は反映されていません。

モニタリング

- **カラースペースが REC 2020 の状態で露出ツールを起動するとノイズが発生する**

SDI 出力のカラースペースが REC 2020 に設定された状態で、MVF-2 の露出ツールを起動すると、SDI 出力にノイズが発生することがあります。SDI 出力を放送または収録している場合は影響されるため、ご注意ください。

- **MVF-2 の上部にかすかなフリッカー**

たまに、MVF-2 内の映像上部にかすかなフリッカーが現れることがあります。これはアイピース内のみで発生し、リップアウトモニターには現れません。

- **EVF 内のフリッカー**

EVF Zoom がオンになっている場合や、EVF サラウンドビューがオフになっている場合、OLED ディスプレイの上部にフリッカーが発生することがあります。

- **マグニフィケーションの上限**

収録フォーマットにより、マグニフィケーションの機能が 200%以下で上限に達することがあります。この場合、数値のみが増加し、実際の拡大率は変動しません。

- **収録モード変更後の SDI 表示**

収録モード変更後、SDI の映像が 5 秒ほどマゼンタがかかった色で表示されることがあります。

再生

- **再生中のオーディオレベル**

オーディオ付きのクリップを再生する場合、MVF-2 のヘッドフォン出力はライブ/収録中より 3dB 小さくなります。

ポスト

- **DaVinci Resolve 上の MXF/Apple ProRes で、Mirror 機能が利用できない**

DaVinci Resolve 上の MXF/Apple ProRes では、垂直方向の Mirror image 機能は利用できません。ARRIRAW では問題なく動作します。

リモートコントロール

- **ウェブリモートの接続不良**

OS とブラウザの組み合わせによっては、ウェブリモートでカメラを検出できないことがあります。この場合は、カメラの LAN IP アドレスを使用してください。

MENU > INFO > NETWORK INFO LAN IP で、現在の IP アドレスを確認できます。

- **クライアントモードで WiFi が再接続されない**

カメラがクライアントモードに設定されている状態で、再起動または解像度の変更を行うと、まれに WiFi ドライバーがスタックし、以前のアクセスポイントに再接続できず、検出されたネットワークのリストは空になることがあります。この場合、カメラを再起動して WiFi 機能を復旧してください。

同期

- **同期時の SDI 出力**

同期している 2 台のカメラのうち 1 台がタイムコードに同期している場合、収録映像は同期しますが、SDI 出力はわずかなズレが発生します。この問題を解消するには、両方のカメラにタイムコードを入力してください。

- **警告メッセージが表示されない**

スレイブモードに設定されているカメラは、マスターカメラのすべての設定を引き継ぎます。スレイブモードのカメラの設定を操作しても当然変更はできず、項目によってはマスターカメラの設定を変更するよう促すメッセージも表示されません。

- **EXT Sync を無効にした際のエラー**

EXT Sync を無効にした際にカメラがソフトウェアエラー (#4)を表示し、再起動を指示することがあります。再起動すると、カメラは正常に動作します。

- **プレイバックモードで REC ボタンを押した際のタイムコード**

プレイバックモードにおいて REC ボタンを押して戻った場合、タイムコードに 1 フレームのズレが発生することがあります。ビューファインダーのプレイバックボタンを押すか、メニュー内の“close”ボタンを押すことで、この問題を回避できます。

- **EXT Sync でのコーデック変更**

EXT Sync 設定で、ホストが収録コーデックを変更すると、クライアントがリブートループに陥ります。EXT Sync を構築する前に、必要なコーデックを設定してください。

ユーザビリティ

- **既存の User Pixel Mask に上書きできない**

USB スティックの Sensor フォルダに既存の User Pixel Mask がある場合、新規に User Pixel Mask を保存することはできません。User Pixel Mask を保存したい場合、フォルダを空にするか、既存の User Pixel Mask の名前を変更してください。それでも、たまに User Pixel Mask が保存できず、“Exporting user pixel mask, please wait...”と表示されたまま進まなくなることがありますが、この場合はカメラを再起動してください。

- **オーディオ付きクリップ再生時にオーディオアイコンが非表示になる**

RECORDING 設定でオーディオ収録をオフにしている場合、オーディオ付きクリップを再生する際にオーディオアイコンが非表示になります。

- **カメラ起動後も MVF-2 が暗い**

まれに、カメラが完全に起動した後に MVF-2 が何も表示しないことがあります。ビューファインダーのプラグを挿し直してください。

アップデート

- **ALEXA Mini LF SUP のアップデート失敗**

たまに、“Last SUP installation was incomplete. Please re-install SUP. (#135)”というメッセージが表示され、SUP アップデートが失敗することがあります。この場合、SUP を再度インストールしてください。

D. 既知の問題（メカニカルアクセサリー）

- **RAB-1 用クランプ 2 が正常にクランプできない**

初期の RAB-1 用クランプ 2 (K2.0023406) は一部の製造に問題があったため、クランプ性能が低下したり、適切にリリースできないものがあります。リアアクセサリブラケット RAB-1 (K2.0013937) に RAB-1 用クランプ 2 を装着した際に、正常にクランプ/リリースできない場合、ARRI サービスセンターに修理または交換をご依頼ください。

- **コンパクトブリッジプレート CBP-1/CBP-2 のレバー不具合**

コンパクトブリッジプレート CBP-1/CBP-2 をバランスプレートから外すときは、メインロックingleバーのセーフティキャッチを外した上で、レバーを BALANCE から RELEASE の位置まで動かす必要があります。初期の CBP-1/CBP-2 の中には、セーフティキャッチを操作しないまま、メインロックingleバーが LOCK から RELEASE の位置に動いてしまうものがあります。この場合は、ARRI サービスセンターに連絡し、修理または交換を依頼してください。

E. アップデート手順

ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP)のダウンロード方法

ソフトウェア・アップデート・パッケージのダウンロードセクション (以下の URL)から SUP ファイルをダウンロードすることができます。USB スティックを用いて、下記の方法で SUP をカメラにインストールしてください。

<https://www.arri.com/en/technical-service/firmware/software-and-firmware-updates-for-cameras/alexa-mini-lf-sup>

カメラのアップデート方法

ALEXA Mini LF のソフトウェア・バージョンアップは USB スティックを使って行います。ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP)はカメラ本体と、カメラに接続されているビューファインダー (MVF-2)、レンズマウントをアップデートします。

アップデートは MVF-2 内のメニューまたは Web Remote 経由で実行することができます。Web Remote を使用するには、WiFi またはイーサネット (要 K2.72021.0 ALEXA Ethernet/RJ-45 Cable KC-153-S)ケーブルで PC にカメラを接続し、ウェブブラウザで <http://mini-LF-xxxxx.local> (xxxxx はカメラのシリアルナンバー)にアクセスします。Web Remote の詳細についてはユーザマニュアルをご覧ください。

SUP 7.2 で出荷された LPL マウントのバージョンに問題があり、アップデートが失敗する恐れがあるため、アップデート中は LPL マウントに別のデバイスを接続しないでください。

- ・ ダウンロードしたファイル (*.zip)を解凍し、2 種類のアップデートファイル (*.SUP と*.lic)を展開します。
- ・ USB スティックを ALEXA Mini LF に接続して MENU > Media > Prepare USB medium を選択し、CONFIRM を押すことで、USB スティック内に必要なフォルダー構造が生成されます。
- ・ コンピュータに USB スティックを接続し、ARRI¥A-MINI¥SUP のフォルダーに*.SUP ファイルを配置します。同様に、ARRI/A-MINI-LF/LICENSES フォルダーに*.lic ファイルを配置します。
- ・ SUP にはカメラボディだけではなく、ビューファインダー MVF-2 や LPL レンズマウント用のアップデートファイルが含まれています。そのため、アップデートを行うときは、MVF-2、LPL レンズマウントをカメラに装着してください。
- ・ アップデート中に電源が切れないよう、カメラを可能なら安定電源、またはフル充電されたバッテリーに接続してください。
- ・ Menu > Setup > Factory Reset...からファクトリーリセットを行います。
- ・ **注：カメラからメディアを取り出してください！**
- ・ カメラから収録メディアを取り出します。
- ・ USB スティックをカメラに接続し、MENU > System > Update Camera を選択します。
- ・ リストから適切な SUP ファイルを選択し、ジョグホイールを押します。
- ・ メッセージが表示されたら INSTALL を押し、インストールを開始します。
- ・ アップデート状況を示すスクリーンがカメラに表示されます。カメラが再起動するまでオフにしたり電源を取り外さないでください。
- ・ アップデート終了後、成功のメッセージが表示されます。アップデートは最大 20 分ほどかかることがあります。
- ・ 上記の 6 つの手順 (紫色で記した部分)を繰り返し、2 回目のアップデートを行ってください。
- ・ アップデート中にビューファインダーが真っ暗になり、進行状況がわからなくなることがあります。この場合、電源は切らず、ウェブリモートで接続して、SDI 1 に赤い ERROR アイコンが表示されているか確認してください。

"fail"と表示されたらアップデートを再実行してください。

- System Time 設定から正しいタイムゾーンを選択してください。
- アップデート時にカメラに MVF-2、LPL レンズマウントが接続されていなかった場合、それらのデバイス用のソフトウェアがカメラに保存されます。これらのデバイスが次にカメラに接続されたときにソフトウェアが古ければ、カメラがアップデートを推奨します。

本件に関するお問い合わせ：

※ 製品の仕様、外観は予告なしに変更することがあります ※消費税は、資産譲渡時の税率を適用し加算されます

ISO 9001 認証取得



株式会社 **ナックイメージテクノロジー**
制作営業部 ダイヤルイン：03-3796-7901
<https://www.nacinc.jp>

本 社 〒107-0061 東京都港区北青山 2-11-3 : 03-3796-7900
大 阪 〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-2-1 : 06-6359-8110
名古屋 〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-8-10 : 052-733-7955